

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">心理学B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文1回生 文学部英米1回生 文学部文財1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">広沢 俊宗</p>
<p>授業テーマ</p> <p>人間関係の心理学</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>人間はさまざまな社会的関係の中で生活しており、現代社会は高度情報化、少子高齢化の中で複雑多岐に渡っている。そういう中で人間関係の心理学について学ぶことは、これからの対人関係を構築する上でも非常に重要なことである。具体的には、「Ⅰ. 教育」「Ⅱ. 対人魅力」「Ⅲ. 親密な人間関係」「Ⅳ. 対人コミュニケーション」の4つのテーマについて学ぶことによって、社会的スキルを高めることを目標とするものである。</p>		
<p>評価方法</p> <p>定期試験（100％）によって、評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>ワークショップ 心理学</p>	<p>著者</p> <p>藤本忠明・東正訓他</p>	<p>出版社</p> <p>ナカニシヤ出版</p>
<p>参考書</p> <p>ワークショップ 人間関係の心理学</p>	<p>著者</p> <p>藤本忠明・東正訓編著</p>	<p>出版社</p> <p>ナカニシヤ出版</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育 (1) いじめの起こりやすい学級集団の特徴について考察する。 2. 教育 (2) 教師に求められる教授方法のポイントについて学習する。 3. 教育 (3) 理想的な教師のリーダーシップについて考察する。 4. 対人魅力 (1) 対人魅力の規定因—近接性、単純接触の効果、身体的魅力—について理解する。 5. 対人魅力 (2) 対人魅力の規定因—類似性、相補性、好意の返報性—について理解する。 6. 対人魅力 (3) 好かれる人・嫌われる人の特徴について考察する。 7. 親密な人間関係 (1) 特定の異性への感情を自己診断テストによって測定し、好意と愛情について理解する。 8. 親密な人間関係 (2) 愛情の構成要素、愛情の種類について学習する。 9. 親密な人間関係 (3) つり橋効果、SVR理論などについて学習する。 10. 親密な人間関係 (4) 愛情の危機的過程について、失恋などを取り上げて考察する。 11. 幸福感と人間関係 主観的幸福感の規定因をグループワークによって抽出し、発表する。 12. 対人コミュニケーション (1) 対人コミュニケーションプロセスモデルについて学習する。 13. 対人コミュニケーション (2) 非言語コミュニケーションについて学習し、パーソナルスペース、対人距離などを理解する。 14. 対人コミュニケーション (3) 聞き上手・話し上手になるためのノウハウについて学習する。 15. 最終試験 今までの内容がどの程度理解できているかを試験によって把握する。 		